

# 命を支える農業の大切さを実感

## 平成24年度農業体験学習



▶西原村で加工食品づくりを体験した甲佐中学生

●甲佐中学生が2日間の日程で農業の大切さを学習

8月23日(木)～24日(金) 県立農業大学校ほかで、平成24年度農業体験学習が開催されました。

甲佐中学校(作田潤一校長245人)の1年生を対象として実施される同学習は、子どもたちが農業の大切さ、収穫の喜びややりがいなどを実感することを目的に、甲佐町産業後継者育成対策協議会(本田新会長)が主催。平成9年度から毎年実施され、今年には15人が参加し、農業について学びました。

●収穫体験や農協の仕組みについて学習

初日は、県立農業大学校(合志市)で作付けされている果樹園や農場を見学。ナシの収穫や糖度計測などを体験

しました。

午後はJA熊本教育センター(同市)で、農業協同組合の始まりや仕組みなどを学習するとともに、クイズ形式で主な県産品について学びました。また、菊池市で毎年行われている1泊2日の農業体験「中学校ふるさとファームステイ」の開催状況についての講演もあり、生徒は、講師であるJA菊池の青壮年部のメンバーに、「農業をやっている、楽しいことは何ですか」と質問し、講師からは「自分の都合に合わせて自由に休めること」「仕事が一段落したときの充実感」「同業者には負けないという自信」「がんばって作った物が、高く売ればうれしい」などの答えが返ってきました。

翌日は、西原村で加工食品づくりや動物との触れ合いなどを行いました。



福島 雅さん  
甲佐中1年  
【緑町区】

私は2日間でいろんなことを学びました。また、たくさんの友だちと仲良くできて、とても充実した2日間でした。



岩木 麻侑さん  
甲佐中1年  
【上田口区】

農業体験学習を通して、農業をたくさん知ることができました。ミルク牧場でも、友だちと楽しく活動できたので良かったです。